

「新ごみ処理施設」について



令和9年4月 稼働

所在地 : 菖蒲町台（菖蒲清掃センター周辺）の約40,000m²

整備施設 : エネルギー回収施設（155 t/日）
（施設規模） マテリアルリサイクル施設（11 t/日）

建物高さ : 33m（地上6階・地下1階） ※煙突部分/ 59m

事業費 : 約459億円（建設費/301億円、運営費(20年間)/145億円、旧施設解体費/13億円）

久喜負担/ 248億円、宮代負担/ 60億円、国交付金等/ 151億円（概算）

1. 新ごみ処理施設整備の経緯

[久喜宮代清掃センター]

1号炉 昭和50年稼働

2号炉 昭和55年稼働



[菖蒲清掃センター]

平成元年稼働



[八甫清掃センター]

昭和63年稼働



集約

～ 周辺環境と調和した施設 ～

～ 迷惑施設と呼ばれない施設～

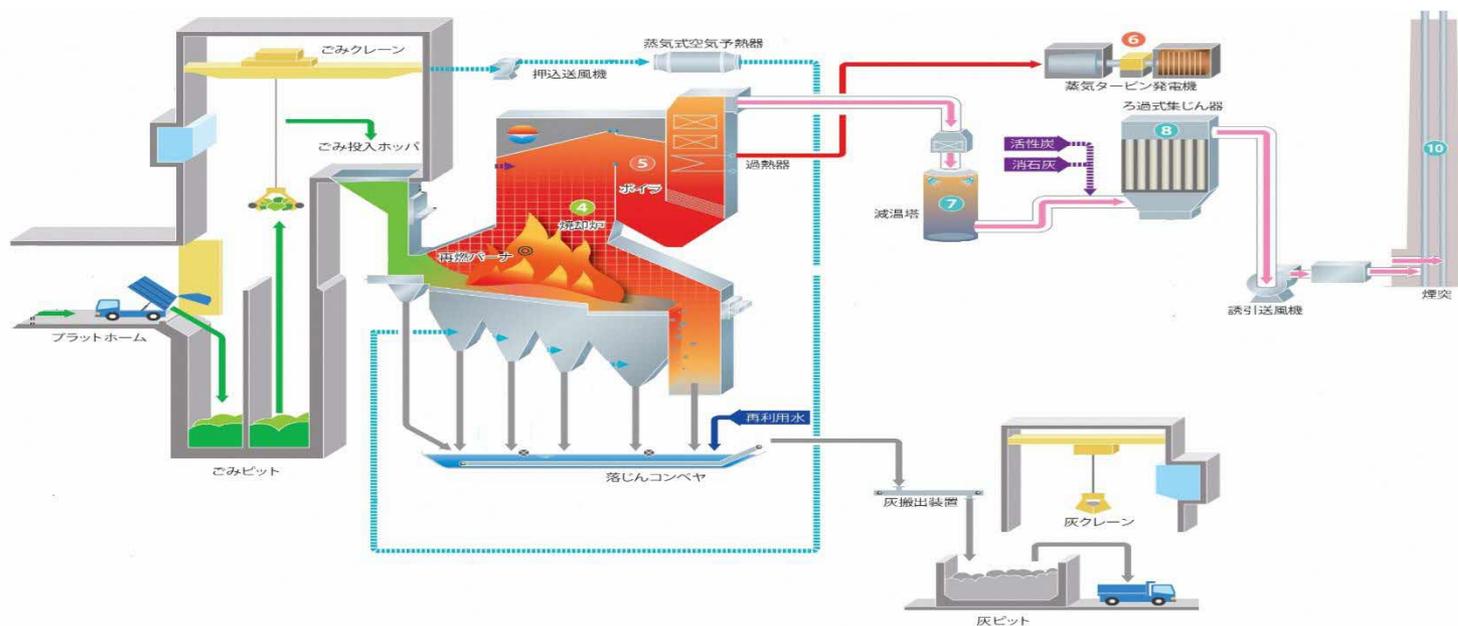
新ごみ処理施設



2-1. 施設の特徴（環境）

(1) ごみ焼却熱を利用した発電

ごみの焼却熱を利用して電気を作ります。



(2) 再生可能エネルギーの活用

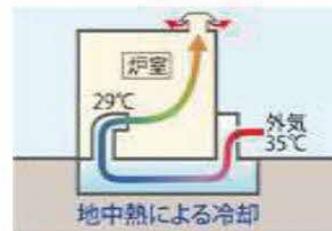
太陽光や風力、地中熱などの多様な自然のエネルギーを有効利用します。



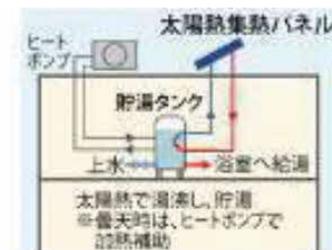
太陽光発電パネル



ハイブリッド外灯



地中熱換気システム



太陽熱利用給湯システム

(3) 建物の省エネルギー化

LED照明や省エネ空調などで省エネルギーな建物を整備します。(ZEB Ready化)



(4) 公害防止基準(自主管理基準)の設定

法令等で定める規制値以下の自主管理基準を独自に設定し、ごみを処理します。

	ばいじん ($\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$)	硫黄酸化物 (ppm)	窒素酸化物 (ppm)	塩化水素 (ppm)	ダイオキシン類 ($\text{ng-TEQ}/\text{m}^3_{\text{N}}$)	水銀 ($\mu\text{g}/\text{m}^3_{\text{N}}$)
法令・条例による規制値	0.08	3,900	180	123	1	30
新ごみ処理施設の自主管理基準	0.01	30	50	30	0.1	30

2-2. 施設の特徴（周辺環境との調和）

（1）搬入路の工夫（トンネル化・一方通行化、待機車両対策）

- ・搬入路をトンネル化し、周辺への臭気・騒音の漏洩を防止します。
- ・搬入路の一方通行や、十分な待機車両スペースを確保し、周辺道路への交通支障を防ぎます。



(2) 公園との一体整備

隣接する公園と一体で整備することにより、周辺環境への調和を図ります。



2-3. 施設の特徴（迷惑施設の払拭）

迷惑施設というイメージを払拭し、市民の皆様にも長く受け入れられる施設にします。



屋上庭園

子供用遊具

ウォーキング・ジョギングコース

大階段ステージ・テラス

2-4. 施設の特徴（環境学習）

(1) 2つの施設見学コース

ごみ処理施設やごみ処理工程が楽しく
学べる2つの見学コースを用意します。



(2) 環境啓発イベント等の開催

環境に対する意識を啓発するための
イベントや教室を開催します。



3. 現施設(3施設)との比較

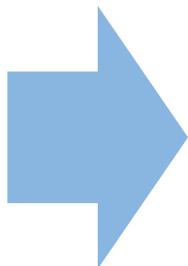
久喜宮代
清掃センター



菖蒲
清掃センター



八甫
清掃センター



新ごみ処理施設



費用 (ごみ処理費 ※)

29 億円/年

- 14 億円/年

15 億円/年

発電量 (売電量)

0 MWh/年
(0世帯)

+ 20,500 MWh/年
(4,600世帯 相当)

20,500 MWh/年
(4,600世帯 相当)

温室効果ガス排出量

18,900 t -co2/年
(4,200世帯 相当)

- 8,800 t -co2/年
(2,000世帯 相当)

10,100 t -co2/年
(2,200世帯 相当)

※ごみ処理費：施設運営・収集・資源選別・塵芥処分・資源売却・売電の合計

4. ごみ処理の変更（令和9年度～）

令和9年度の 新ごみ処理施設の稼働に向けて、各地区で異なる分別方法を統一します。（令和8年12月の試運転に合わせて統一します）

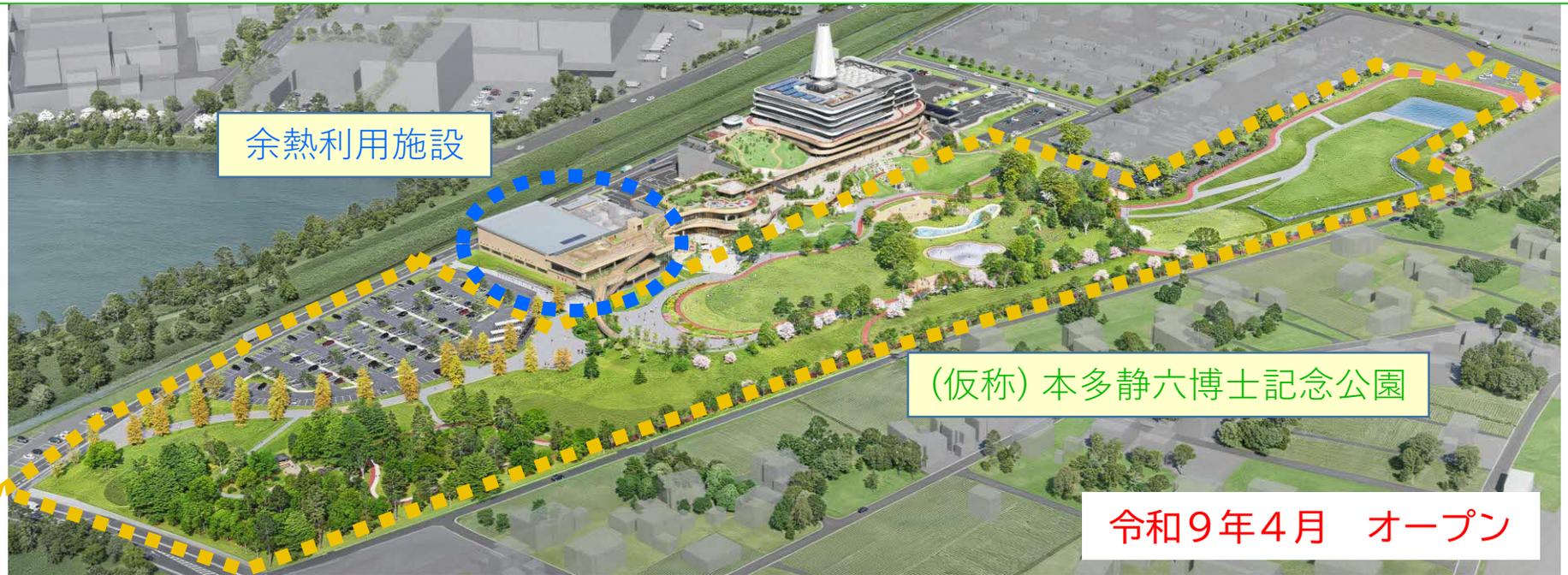
【現在】（異なるものの一例）

地区 項目	久喜宮代清掃センター (久喜地区)	菖蒲清掃センター (菖蒲地区)	八甫清掃センター (栗橋, 鷲宮地区)
プラスチック の 分別 (ペットボトルを除く)	資源プラスチック類 (プラスチック全般)  +  プラ製品	プラスチック製容器包装 (プラマーク付きのみ)  	
ペットボトル の 出し方	透明(半透明)の袋 (すべて同じ袋に入れる) 		ネット(青色) 
瓶, 缶 の 出し方			ネット(黄) 又は コンテナ 

【令和8年12月から】

地区 項目	新ごみ処理施設 (全地区)
プラスチック の 分別 (ペットボトルを除く)	燃やせるごみ  +  +  生ごみ 容リプラ プラ製品
ペットボトル の 出し方	透明(半透明)の袋 (すべて同じ袋に入れる) 
瓶, 缶 の 出し方	

「余熱利用施設・（仮称）本多静六博士記念公園」について



所在地： 菖蒲町台（菖蒲清掃センター周辺）（公園 約93,000m²）

整備施設： [余熱] プール、温浴施設、トレーニングジム、飲食施設等
[公園] 広場、ウォーキング・ランニングコース、バーベキューエリア、遊具等

建物高さ： 地上2階（余熱利用施設）

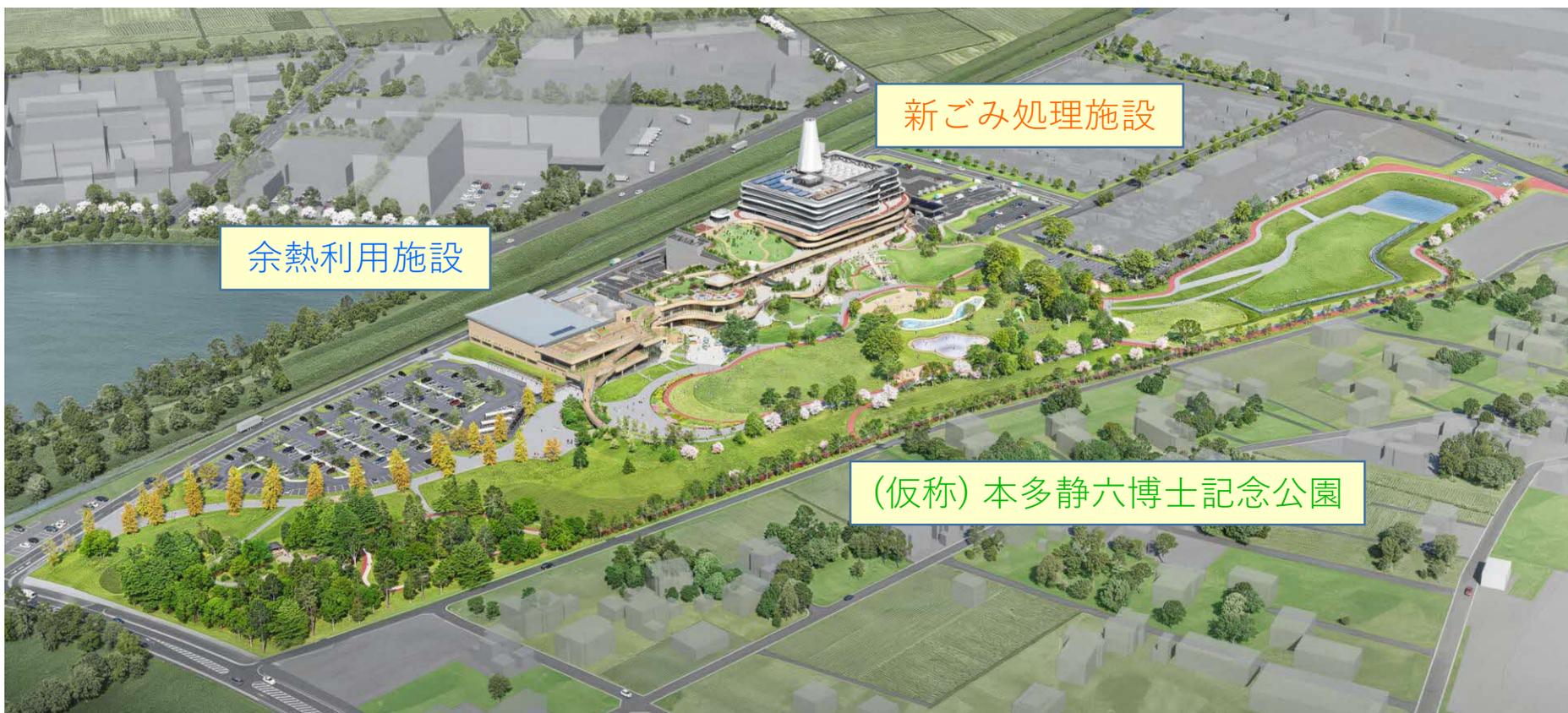
事業費： 約130億円（建設費/83億円、運営費(20年間)/47億円）

特徴： ごみの焼却により発生した熱と電気を有効利用

利用開始： 令和9年4月

1. 施設の一体整備

「余熱利用施設」「本多静六博士記念公園」「新ごみ処理施設」を一体的に整備し、新たな賑わいの場所を創ります。



2-1. 主な施設内容（余熱利用施設）

○温浴施設

大浴場、サウナ、
露天風呂、広間



○トレーニングジム

各種トレーニング機器



○多目的室

《活用例》
会議、各種教室等



○温水プール

25mプール、
幼児用・流水プール



○フィットネススタジオ

《活用例》
卓球、各種教室



○飲食

レストラン、カフェ



2-2. 主な施設内容（（仮称）本多静六記念 市民の森・緑の公園）

○広場

芝生広場、花壇等



○ランニング・ウォーキングコース

ランニング・ウォーキングコース



○バーベキュー施設

バーベキューエリア
機材レンタル、食材提供



○遊具

大型遊具
インクルーシブ遊具等



○水遊び場

噴水
じゃぶじゃぶ池



○本多静六博士顕彰の森

博士を顕彰する森



3. 施設のイメージ

◇ 余熱利用施設

ごみ処理施設と滑らかにつながる屋上



親子の利用に配慮したスペース



季節ごとの湯を楽しめる露天風呂



リラックスできるマッサージチェア・畳の間



◇ (仮称) 本多静六記念 市民の森・緑の公園

ごみ処理施設までつながる遊歩道



景観のよい花壇と芝生のウェルカムゲート



子どもに人気のふわふわドーム



あらゆる子どもと一緒に遊べるインクルーシブ遊具

